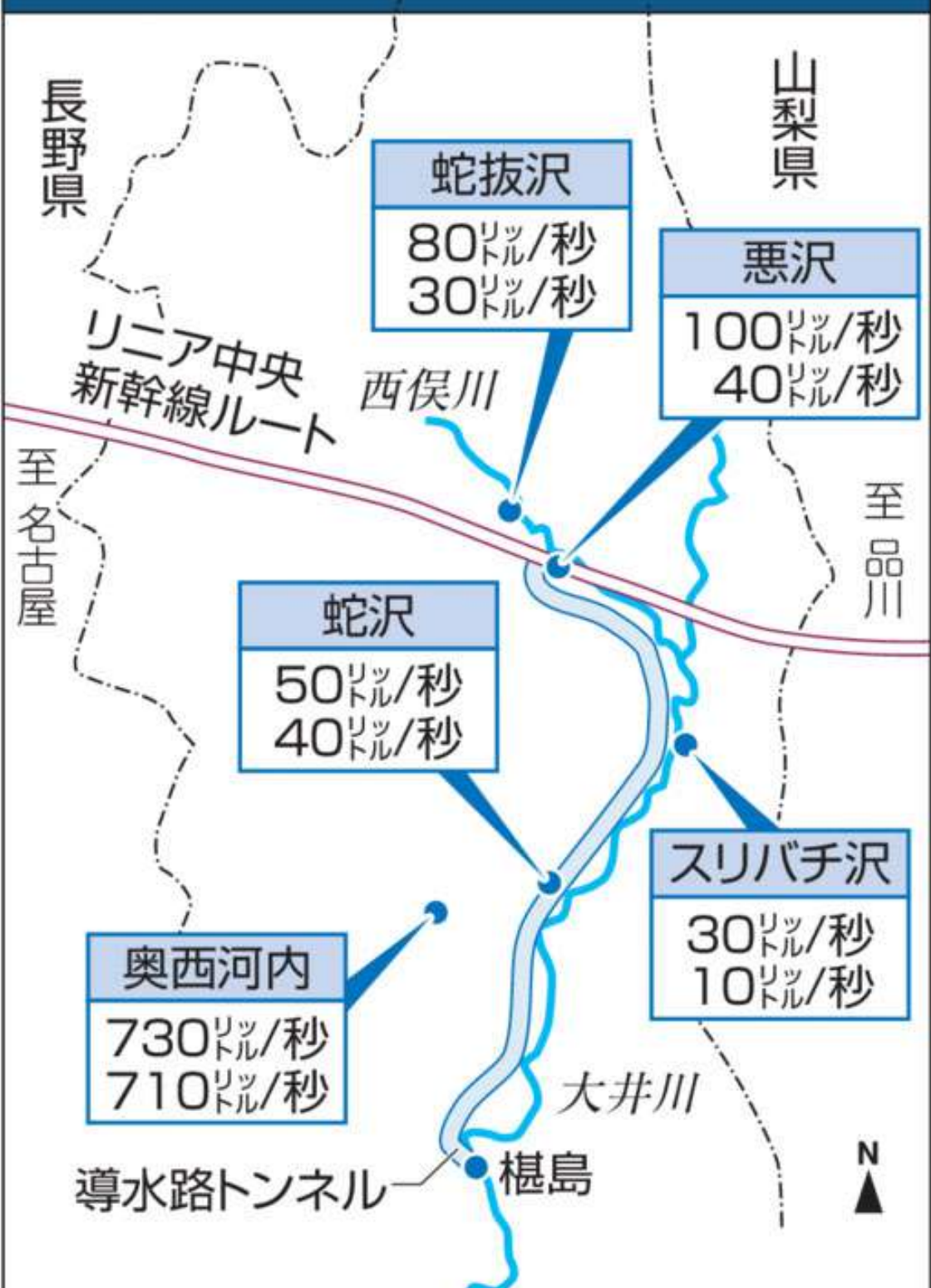


JR東海が2022年3月の県専門部会で示した静岡市水収支解析モデルを用いた大井川上流部の沢の流量変化予測。主要断層部の透水係数を小さく設定することで、影響も小さくなることが予測される



※上段は工事前の年平均流量予測値。
 下段は工事後の流量予測値
 ※JR東海提出の資料を基に作成